

第8回 More 輝区～南区アイディアコンペ～開催結果概要

1 概要

(1) 目的

若い世代が区のまちづくりについて考える機会を創出するとともに、区内の若者と地域団体との交流を図ることを目的とした。

(2) 日時

令和4年3月20日(日) 13:00～16:00

(3) 会場

相模原市南区合同庁舎3階講堂(南区相模大野5丁目31番1号)

(4) 主催等

主催：南区若者参加プロジェクト実行委員会

共催：相模原市南区役所

(5) 参加人数

35名

【内訳】

一般参加者(オンライン参加)	15名
プレゼンター	9名(4組)
南区若者参加プロジェクト実行委員	11名

2 内容

(1) テーマ

「mission 01 名物を創り出せ!!」

2027年に相模原市内にリニア中央新幹線が開業することにあたり、5年後の未来を創造するべく、今後5年間のアイディアコンペの大テーマを「未来のまちづくり大作戦(プロデュース)」とした。初年度の今回はMission01として小テーマを設定した。

(2) 進行方法

参加者同士の交流を目的に、テーマに則った発表をプレゼンターが行った後、プレゼンター、一般参加者、若プロ委員が発表について意見交換を行った。

一般参加者はWeb会議ツールを使用したオンライン参加のみとした。

(3) 発表プレゼンターと発表内容

①株式会社セラム・グループ

「都市型郊外」である相模原のセールスポイントを創るため、市内の古民家を集約したひとつの「街」を創り出す。「街」には宿泊施設だけでなく、南区民や希望者が日帰りで利用できるワーケーションスペースや、南区や相模原の魅力がPRできる「特産市」などを設けて、南区の新名所として周知を図る。

②NPO法人 SoELa

地域、企業、大学など学校外部と協働し、課題をテーマに解決策を見出す課題解決型授業(=アントレプレナーシップ)を、南区高校生を対象に実施する。本来のアントレプレナーシップは、課題の発見と、その解決方法のプレゼンでプログラムが終了するが、南区における取組では実際にひとつの地域イベントを実現するまで高校生が関わり、南区の新たな強み(名物)として「若者が名物を作り続けるまち」を創り出す。

③相模原フードトラック協会

「南区ブルー」をテーマに、お気に入りの青い洋服でイベントに参加する、世界でも類を見ない一大カラーパーティー「さがみはら南区ブルーフェスタ」を開催する。フェ

スタでは、広報用の空撮写真を撮影し SNS 発信をするほか、その年の「最もイケてる青い人」を選ぶブルーマン・ブルーガールコンテストを実施するなど、来場者一人ひとりが「主役」となり、会場で誰もが「一体感」を体験出来るイベントにする。

④旬鮮酒場 NOBU

相模原市南区の養鶏場は主に卵を出荷しており、卵を産み終えた鶏は廃鶏として処分されてしまう。そこで、調理の難しい廃鶏をあえて使用した「さがみチキンの鶏すじ煮込み」「さがみチキンジャーキー」を南区の新名物として販売する。廃鶏を有効活用する取組は全国でもまだ珍しく、相模原市南区が SDGs 先進都市として注目を集めるきっかけにする。

3 表彰

ア 南区アイデア賞

南区若者参加プロジェクト実行委員会が発表を「交流性」「独創性」「将来性」の視点で審査し、決定した。

受賞者：③相模原フードトラック協会

イ オーディエンス賞

一般参加者が最も印象に残った発表に投票し、得票数が最も多いプレゼンターに授与した。

受賞者：②NPO 法人 SoELa